





明 治 新 撰

俳諧季寄鑑



明治俳諧季寄鑑  
 ○新刻改正季寄八一年十二月  
 月廿二ツ不合者一月より  
 台月半を以て上段に備へ七月より  
 十二月まで下段におき更へ大抵  
 唐合せ乾坤控おより非「歌  
 公変故事等にては中々部を  
 今も終る層の用甚一見勝れ  
 と一々搜索に資と  
 但一非取を以て松葉のたふ  
 向日未定の新撰ありて居る  
 依り終る一は皆おに棄  
 げ為再正のと知有る  
 於新撰の唱の中におもき  
 景物を撰ひて増加す



歳旦之詞

歳旦、用ひする

景物を集出さ

但一甚の字具去季の奇のハ  
今亦に省く

乾坤

大象降也風体山類

水遠時依人事等事

此部、あつては、一季去

とに三月、了らぬハ、其所

あつては

但一季、あつては、ハ、

了らぬハ、其所

毎部、是、ハ、

植物類

草木花實妻と

此部、収む

生類

禽獸虫魚草木

む。生類、ハ、

生類、用ひするハ、

此部、去、ハ、

倣く

衣食類

衣、食、飲、食、此部

此部、ハ、

の、ハ、

の、ハ、

神釋

神、一、

此部、

に載き

公妻故事

古、

と、

の、

の、

都々季節に於て諸家あり  
 之ひる物を其是回を以て釈  
 一々四季に出ず師に尋て用  
 捨あふへ

○芭蕉其器は遠語の懐席  
 の式去猶月夜を依心清山歌  
 水邊居如人倫より悲神一秋  
 等にはまきまき其去葉取以て是  
 且其有作やう切字文章甚儲  
 の品紙孝法程紙席著生  
 此の以腹を俵取の十体か説  
 句と考其お心の便と本をき  
 口授お師に細と寸

泮水園ハ木苜舎校  
 内人山内梅散編

一月 七月

冬 夏

歳旦之詞 乾坤

元日 元日

二日 三日 風俗月 正月

元且 元且 正月 正月

改旦 改旦 材鏡 正月

宗旦 宗旦 九月 正月

初月 初月 永夏 正月

初明 初明 小夏 正月

初霽 初霽 小暑 正月

初空 初空 大暑 正月

初暑 初暑 溽暑 正月

日の初

氷室

ちの日

ひむろ

初日の

ひむろの

年の初

極暑

ころろ

冬乙

改年

暑き日

何の月

何つさ

向ふ

日寒

新年

三伏

暑き

風蒸

年立

涼風

年立

月涼

何年

納涼

宵の年

夕暮

年の礼

夕暮

年の者

夕暮

年の花

夕暮

初鳥

夕暮

初

夕暮

初

夕暮

初

夕暮

初

夕暮

初

夕暮

初

夕暮

初

夕暮

初

夕暮

と孫と不孫

去るる山

細末不事と云

泉

はやき

法

ゆるそそ云

法

ほろろ云

法

ゆるそそ云

法

たのし云

土用干

ゆるそそ云

虫干

ゆるそそ云

土用三郎

ゆるそそ云

何ら一廿

ゆるそそ云

井

ゆるそそ云

掛

ゆるそそ云

簞

ゆるそそ云

抱

若きい寸

汗

尾 竈

膝

年 男

吾輩散

若 云

雲

研ひきき

夏

ゆるそそ云

夏

ゆるそそ云

汗

ゆるそそ云

糖

ゆるそそ云

夏

ゆるそそ云

秋

ゆるそそ云

秋

ゆるそそ云

秋

ゆるそそ云

秋

ゆるそそ云

夏

門松

松まつ

松の内まつのうち

銚子ちやうし

ワの竹わのたけ

かきりかきり

福ふく

かきりかきり

銚子ちやうし

銚子ちやうし

銚子ちやうし

銚子ちやうし

銚子ちやうし

山やま

掛か

名な

銚子ちやうし

銚子ちやうし

銚子ちやうし

銚子ちやうし

銚子ちやうし

銚子ちやうし

銚子ちやうし

銚子ちやうし

銚子ちやうし

銚子ちやうし

松まつ

松まつ

松まつ

松まつ

松まつ

松まつ

松まつ

松まつ

松まつ

松まつ

松まつ

松まつ

松まつ

松まつ

松まつ

松まつ

松まつ

松まつ

松まつ

松まつ

松まつ

松まつ

松まつ

松まつ

松まつ

松まつ

松まつ

薑 周

薑の皮

薑 芋

芋の皮

薑 芋

芋の皮

薑 芋

芋の皮

薑 芋

芋の皮

薑 芋

芋の皮

薑 芋

芋の皮

薑 芋

芋の皮

薑 芋

芋の皮

薑 芋

芋の皮

薑 芋

芋の皮

薑 芋

芋の皮

薑 芋

芋の皮

蒜の子

蒜の皮

蒜の子

蒜の皮

蒜の子

蒜の皮

蒜の子

蒜の皮

蒜の子

蒜の皮

蒜の子

蒜の皮

蒜の子

蒜の皮

蒜の子

蒜の皮

蒜の子

蒜の皮

蒜の子

蒜の皮

蒜の子

蒜の皮

蒜の子

蒜の皮

蒜の子

蒜の皮



くすくす

万葉

大夏毒

多あひ

猪引

柄く

速お

破六弓

くま

子鞠

きり羽子

お子松

小角豆

十八きけ

瓜の玉

瓜

苦菜瓜

あえ瓜

菜瓜

那瓜

湯の玉

湯の玉

百日紅

子松

李松

まねね

おん文

けそ

名衣始

編糎

子けめ

一子初

おん文

おん文

おん文

おん文

おん文

おん文

林檎

木耳

木皮

昆布

生糎

福り

おん文

おん文

空蟬

おん文

蟬の語

おん文

おん文

歳旦  
七 生衣

試草

夏玉

宝引

金鬼虫

福引

毛玉

表白連衣

毛玉

之物連衣

中蒙

三羽佐世

槽

初商

湖月

初商

結糸

幸木

鱈

幸木

川狩

水鏡

犬

水鏡

斑

水鏡

壁

偶侶

蠅

偶侶

蠅

乾坤

衣食

梅初月

氷録

三初月

一束

三初月

甘酒

小

古さ

大

麻地

大

夏切

大

水の

大

乃

大

着

大

砂

大

振

宇 子

語り 舌

土 用

心 方

初 子 の 日

切 麦 秋 共

子 の 日 の 終

冷 麦 日 上

卯 杖

干 瓜

卯 子

本 良 漢

人 日

菴 梅

常 連 花

梅 干 漢

粥 杖

納 豆 仕 込

か 也 杖

ひ ぎ 送 元

注 連 の 肉

干 瓢 む く

義 入

沖 鱈

初 子 之 日

掛 鯛 煎 取

紹 比 郎

削 氷

老 義 長

氷 麦

とん ち

胎 當

吉 考 老

汗 とり

柳 ぶ ら ー

冷 酒

帳 と 古

夏 酒

性 古

飯 筑

植 物 類

水 麦 京 古

之 梅

神 釈

子 吸 抽

建 魯 祭 山 日

子 梅

富 士 詣 一 日

冬 の 梅

安 房 系 十 日

之 梅

湊 川 系 十 三 日

多 松

子松つを松

空竹の子

子の目松

小松引

七 種

荷

とぎやう

仙の坐

すゝら

右七種

茗 菜

まつ子菜

まりの菜

双葉菜

へそ菜福

水菜 共

水菜

根白子

せう

露の毛

ふきの芽

みそ

生 蘭

猫お

つち忠猫

おとさくろ

錦 竈

祇園水井

雪山 鐙

祇園會

古刀

月

放

占

占

占

占

占

占

占

占

余路二

右十七日

出

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

衣 禮 五

八ツ目 饅 五

鵜 巢 と 五

野 施 五

濠 と 五

衣 合 五

初 五

特 の 産 五

甘 太 五

素 麵 五

細 味 五

小 鯛 五

豆 湯 五

豆 湯 五

神 秋

四 方 五

孤 室 五

産 秋 五

産 秋 五

天 神 五

降 五

百 五

茅 の 五

五 五

五 五

五 五

五 五

五 五

五 五

五 五

五 五

五 五

五 五

五 五

五 五

五 五

五 五

五 五

五 五

五 五

五 五

五 五

五 五

五 五

元夜系 三日

立 杖

天狗妻 二日

杖たの

箕面宮 七日

とりの杖

十日蛇子

よしの杖

吉野法後 九日

木るの杖

本多頼恩講 西

さらの杖

十日より 十日

子 杖

お宮系 三

雲 杖

番おろし

餘 杖

厄神系 八

杖 杖

某持川神

杖の杖

繪ふと

お 杖

鷹か 杖

ひやの杖

孝昭香系 廿日

律の杖

空垢離

新 杖

公使故事

おての杖

改 招 四日

栞 杖

陸軍始 八日

つねの杖

臨 奇

茶 杖

新事妻 五日

七 杖

信ふ合御云

星 杖

白馬系令

牽牛 杖

りて了てら

乙の杖

よ新市 九日

銀河 杖

星 杖

星 杖

男たの杖

男たの杖

女たの杖

女たの杖

系の杖

系の杖

杖の杖

杖の杖

三 乾坤

二月

暮

乾坤

睦月

あつ月  
あつ月

去  
去

去  
去

節分

立春

子

春

春

春

八 乾坤

あつ月  
あつ月

去  
去

去  
去

去  
去

去  
去

去  
去

去  
去

去  
去

去  
去

去  
去

去  
去

去  
去

去  
去

相撲

新田

霧

白

霧

霧

霧

霧

霧

霧

霧

霧

霧

二 乾坤

雪分 雪分

以下三月まで

霞

初秋の霞

雲の浦

雲の衣

かきこ

結かきこ

長

果

薫

うら

暖

八 植為

新 藻

植 物

植 物

植 物

草の葉

一 葉

一 葉

一 葉

相 葉

相 葉

柳 葉

楓 葉

楓 葉

木 葉

松 葉

松 葉

松 葉

松 葉

松 葉

松 葉

松 葉

松 葉

松 葉

松 葉

松 葉

松 葉

松 葉



青 風

青 石

青 の 宮

青 の 洞

本 地 物 縁

茶 青 糸

工 青 糸 糸

青 糸 糸

青 糸 曲

抽 技 糸 糸

青 糸 糸

青 糸 糸

青 糸 糸

青 糸 糸

風 ぬ る 玉

植 物 糸

糸 糸

糸 糸

糸 糸

糸 糸

糸 糸

糸 糸

糸 糸

糸 糸

糸 糸

糸 糸

蘭

糸 糸

糸 糸

糸 糸

糸 糸

糸 糸

糸 糸

糸 糸

糸 糸

糸 糸

糸 糸

糸 糸

糸 糸

糸 糸

糸 糸

糸 糸

糸 糸

糸 糸

糸 糸

糸 糸

糸 糸

糸 糸

糸 糸

糸 糸

糸 糸

糸 糸

石 草

古 草

草 草

草 草

野 大 根

木 此 草

梅

白 梅

赤 梅

草 草

梅 草

草 草

草 草

松 の 葉

十 づ の り 草

草 草

草 草

名 松

種 草

細 草

細 草

田 を か へ 草

田 草

草 草

草 草

草 草

草 草

解 草

益 母 草

草 草

草 草

草 草

草 草

草 草

蓮 の 葉 草

草 草

草 草

草 草

草 草

星 草

草 草

草 草

草 草

草 草

草 草

草 草

草 草

早 草

草 草

刀 草

隠 之 豆

西 瓜

川路柳

玉柳

門柳

ふ柳

柳

柳

柳

柳

柳

柳

柳

柳

柳

陰瓜

南瓜

瓜

瓜

瓜

瓜

瓜

瓜

瓜

瓜

瓜

瓜

瓜

山葵

葱

鳥

独活

菅

菅

菅

菅

菅

菅

菅

菅

菅

蕨

蕨

蕨

蕨

蕨

蕨

蕨

蕨

蕨

蕨

蕨

蕨

蕨

白魚

ワケ

魚水丁

魚水丁

魚水丁

魚水丁

魚水丁

魚水丁

魚水丁

魚水丁

魚水丁

魚水丁

魚水丁

かや

かや

若た

糸

糸

た

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

干かぶら

干大根

柳衣

梅花衣

以下三月

干鱈

酢哈

青めし

木の芽漬

山椒の皮

鹿尾

海空

若和布

助膏痔

助膏痔

膏をき

初鱈

虫

此の舌

や合

松虫

人すち

鈴虫

漣虫

馬追虫

竈虫

海苔

まのり

ねのり

加田のり

多貝

神萩

五日糸

牧園糸

新戸糸

祈年糸

大糸

五穀糸

新糸

ワケ

蜂刺

信織

けし

糸

梅虫

蜂刺

やんま

赤い糸

かき

木

木

木

三 乾坤

初卯八ふ

國韓神系

菜種は借

公更故る

紀元節土音

叙奠

大學寮に孔子  
年十哲とある

三月

春

乾坤

如月

梅見月  
梅つき月

八 土音

春の草

藤の虫

この虫

父音

垣割り

杖の株

くさばり

田の虫

小

名

兄、鷄

小

年

雀 賊

雀 雀

モロ 雀

網掛

乾

膏

鳩

乾

けい

鴨

う

川

鴨

植初

貝妻の風

社日

社為の由

二月冬

風中

まひのり  
たところ

植初

初冬

系を結

初冬

初冬

系を結

被る梅

八生

町の物産

百舌鳥

鹿の子

鹿

小男

麻

魚

魚

川

江

海

鱈

沙魚

焼

児

熊

紅

末

八

け

越

産

黄

接

一

梅

小

九

鉛

う

草

案

山

深

引

明

明

年

年

三 植物  
八 衣食

指 把

燒 帛

五加木

縹 帛

小豆の古

杖の節

鴨 糸

帖 帛

苗 代

蟻 螻

苗 代

蠶 虫

高 糸

衣 食

桂 糸

刺 鮫

桂 糸

蓮の飯

菜の糸

乾菜の湯

菜の糸

燒 米

菜の糸

下 麦

菜の糸

ぬる麦

火根の糸

切 麦

若 紫

踊 申

鹿 杖

踊 申

草 牙

志の衣

古子花

神 秋

鹿 杖

氷川糸

鹿 杖

北野糸

鹿 杖

少路糸

鹿 杖

口虫

鹿 杖

池の糸

鹿 杖

六道糸

鹿 杖

ほろ糸

鹿 杖

大糸

蓮根堀

男山糸



蓮 植

菘 中 小

麻 中 小

吉 中 小

杉 中 小

松 中 小

芥 中 小

菊 中 小

菜 中 小

菘 中 小

角 中 小

角 中 小

角 中 小

角 中 小

角 中 小

角 中 小

角 中 小

角 中 小

角 中 小

角 中 小

角 中 小

角 中 小

角 中 小

角 中 小

角 中 小

角 中 小

角 中 小

鹿 中 小

三 中 小

名 中 小

名 中 小

名 中 小

鹿 中 小

盆 中 小

魂 中 小

名 中 小

名 中 小

墓 中 小

名 中 小

名 中 小

名 中 小

名 中 小

名 中 小

名 中 小

名 中 小

名 中 小

名 中 小

名 中 小

名 中 小

名 中 小

名 中 小

名 中 小

名 中 小

名 中 小

▲三 植 九 乾坤

山 燒

植 五 依

芝 や 白

宗 祇 忌 十八日

聖 と 燒

皇 宮 之 傍

▲ 子 や く 彩 く

蘇 高 桑 廿五日

蕪 ニラ

蒜 ニラ

九 月

野 蒜

秋

下 さ つ き

乾 坤

弓 堂 之 心

華 月

中 花 か ぐ れ

長 月 林 風 月

麦 麻 の 花 乃 か ぐ ら 向 く の 心

月 之 月 桂 月

た る も と 云 々 烏 っ 々 々

厂 草 月 仲 林

土 粟

白 家

種 麩

杖 分

百 合 根

田 面 祝

山 棠

田 の 安 枝 乃 た の 山 の 日

温 心

繪 好 恙 工 本

の 花 と 前 あり 陰 々 温 々 々

井 喜

生 乾

長 夜

燕

夜 空

つ ぎ ぎ

▲ 取 字 の 里 彩 く

こ ろ 海

朝 夕 玉

燕 の 巢

そ ろ 々

雛 子

う そ 々

取 々

湖 さ 玉

帰 鴈

冷 一

つれ づら

去る づら

つれ づら

白 づら

かき づら

けこ づら

ねむ づら

かき づら

けこ づら

つれ づら

つれ づら

つれ づら

つれ づら

つれ づら

つれ づら

つれ づら

つれ づら

つれ づら

つれ づら

つれ づら

つれ づら

つれ づら

つれ づら

つれ づら

つれ づら

つれ づら

曇 風

水 ぬれ

雷 声 ぬれ

木 夕

秋 夕

初 汐

良 夜

此 月 夕

月 夕

名 月

月 夕

月 夕

月 夕

月 夕

月 夕

月 夕

月 夕

月 夕

月 夕

月 夕

月 夕

月 夕

月 夕

月 夕

月 夕

月 夕

三 生 取  
カ 龍 坤

暮 子 蟻

蟻 子 蟻

蟻 子 蟻

蟻 子 蟻

蟻 子 蟻

蟻 子 蟻

蟻 子 蟻

蟻 子 蟻

蟻 子 蟻

蟻 子 蟻

蟻 子 蟻

蟻 子 蟻

蟻 子 蟻

蟻 子 蟻

蟻 子 蟻

蟻 子 蟻

蟻 子 蟻

蟻 子 蟻

蟻 子 蟻

蟻 子 蟻

蟻 子 蟻

蟻 子 蟻

蟻 子 蟻

蟻 子 蟻

蟻 子 蟻

蟻 子 蟻

蟻 子 蟻

蟻 子 蟻

蟻 子 蟻

カ 龍 坤

カ 龍 坤

カ 龍 坤

カ 龍 坤

カ 龍 坤

カ 龍 坤

カ 龍 坤

カ 龍 坤

カ 龍 坤

カ 龍 坤

カ 龍 坤

カ 龍 坤

カ 龍 坤

カ 龍 坤

カ 龍 坤

カ 龍 坤

カ 龍 坤

カ 龍 坤

カ 龍 坤

カ 龍 坤

カ 龍 坤

カ 龍 坤

カ 龍 坤

カ 龍 坤

カ 龍 坤

カ 龍 坤

カ 龍 坤

カ 龍 坤

カ 龍 坤

カ 龍 坤

三、衣食神歌

孕之鹿

龍昇カウ  
ノボル

衣食衣  
食

治聲酒治  
聲

餅餅  
乾

神神  
親

出中糸出  
中

清盛忌清  
盛

芝芝  
能

二月半二  
月

日大松明

西行忌西  
行

孟好忌孟  
好

涅槃涅  
槃

仙仙  
の

梅梅  
若

元改忌元  
改

皇皇  
の

九、植物

杉杉  
の

桂桂  
の

漆漆  
の

銀銀  
杏

石石  
桐

葛葛  
根

艾艾  
菴

牡丹牡  
丹

芍芍  
薬

菖菖  
花

山山  
花

敗敗  
花

茶茶  
花

紫紫  
菫

糸糸  
野

宇宇  
治

糸糸  
引

繡繡  
紅

おお  
の

櫻櫻  
花

西西  
房

月月  
子

金金  
剛

ここ  
ま

糸糸  
川

とと  
の

義仲忌 二十日

律 為

宇佐宗 二十八日

初休忌 廿八日

比良ハ海

鷹田系 十六日

棧 塔 日

公事故事

伊勢合 三日

四月

春

乾坤

生

茶 見月 梅月

雲 刈 月 季 去

九 喜 曉 去

末 去 去 柳

惠 風 系 老

清 明

穀 雨

土 用

柳 忌 日

柳 忌 日

龍 忌 日

龍 忌 日

三七の忌

雀 忌 日

野 忌 日

麦 忌 日

厂 木 紅

花 忌 日

尾 忌 日

為 忌 日

木 忌 日

木 忌 日

乃 忌 日

乃 忌 日

乃 忌 日

乃 忌 日

乃 忌 日

乃 忌 日

乃 忌 日

乃 忌 日

乃 忌 日

乃 忌 日

乃 忌 日

乃 忌 日

乃 忌 日

乃 忌 日

乃 忌 日

乃 忌 日

主観  
内裏の糸

紙の糸

柳の刀

汐干

▲干汐乾

土佐の油豆腐

忘れ草

みれみれ

糸の糸

糸の糸

缸神てん

▲缸ハ糸

炉の糸

巨燈塞

草の糸

草の糸

馬草の糸

大草の糸

草の糸

オハコノミ

筒香の糸

たぐとの糸

通草

草の糸

玉の糸

草の糸

草の糸

草の糸

種糸

種糸

大根糸

菜種糸

かじしやく

芥子糸

胡六糸

小菜

貝割菜

はぎ菜

引菜

中ね大根

粟糸

柁糸

みれり塞

誦生山

竹杖

夏竹

夏を記

夏炭

冬糸

切糸

糸の糸

糸の糸

糸の糸

糸の糸

糸の糸

吾の名株

玉おくら

野松

植物類

松の花

白松

松の葉

三つ代茶

櫻

山

花

松

松

つせ松

丸

丸

丸

丸

丸

丸

丸

丸

丸

丸

丸

丸

禊

禊

玉蜀黍

草

木

草

草

草

草

草

草

草

草

松

松

松

松

松

松

松

松

松

松

松

松

松



○花

○慶美の茶

○画の茶

○右三三三

茶巻

茶

茶の宴

茶の室

茶の源

茶の香

茶の味

茶の香

茶の味

秋の田

秋の田

小田

山田

おれおれ

切

生

燕

唇

唇

唇

唇

唇

海

林檎乃

柿柿の茶

柿柿の茶

山

浦

玉

由

杏

か

栗

木

木

茶

色

鳥

鳥

鳥

鳥

鳥

目

眉

頬

山

四

五



鄼 躅

白

白

白

白

白

白

白

白

白

白

白

白

山吹

山吹

山吹

山吹

山吹

山吹

山吹

山吹

山吹

山吹

山吹

山吹

山吹

山吹

江 魁

江 魁

江 魁

江 魁

江 魁

江 魁

江 魁

江 魁

江 魁

江 魁

江 魁

江 魁

江 魁

江 魁

江 魁

江 魁

江 魁

江 魁

江 魁

江 魁

江 魁

江 魁

江 魁

江 魁

江 魁

江 魁

江 魁

薊

免りき 内 つら

丁子子

董

つね 一 飛 子

引子 一 條 子

馬こ ん

茅バ 大 菜

茗モ 草

葉ミ 耳

櫟の 木

杉の 木

通草 の 木

寺小 山 台

八幡 松 寺 廿 日

日前 水 廿 日

國縣 寺 日

半女 寺 廿 日

菩薩 寺 長 廿 日

彼寺

公更 故 寺

引寺

迎寺

寺月 初

寺月 初

寺月 初

寺月 初

司召

十月

十月

林

朝坤

菊月

木津 月

小田 月

長月

相林

寺林

寺林

豆 類

鳴子鳥

冬やよ入

冬留る

冬の名鳥

冬乃巢

冬の名鳥

冬乃巢

田舎化語

冬 鶉

冬 鶉

冬 鶉

冬 鶉

のり類

柳葉魚

柳 鱈

さし類

梅 魚

梅 鱈

けし類

蚕

かき子

獣はらむ

上り薬

鯉 在

浮 鯛

土 用

菊れ日

後の類

死れ類

後の名月

後の月

十三夜

林の色

山 蔭

雲 山

雲 山

秋 涼

秋 涼

草 村

林と村

林と村

林と村

林と村

林と村

後の出代

植物類

菊のきせ

後の葉

菊

菊

菊

四 衣食

魚 鳴

海 苔

いすふご

かやき子

鳥 賊

鷹 糞

海 幸

鳥 子

衣 食 類

草 餅

蓮 巾 子  
母子巾子

椀 の 酒

茶 の 試

十 植物

百 草 類  
油 和 菜

大 木 類

小 木 類  
木 の 芽

乙 女 菜  
白 布 菜

菖 蒲 子

草 牡丹

仙 菜

我 木 香

万 年 草 の 実  
佛 甲 子

小 蓮 菜

菖 蒲 子

草 の 種 類

花 を 食

かき 菜  
新 菜

は 衣

椀 の 山 吹

白 酒

神 秋

大 和 菜 一 日

松 尾 菜 二 日

栗 那 菜 四 日

林 氏 菜 三 日

梅 官 菜 日

護 王 菜 日

廣 州 菜 四 日

龍 田 菜 日

草 類

野 上 戸

芭 蕉 破 子

う ら 枯

那 山 の 色

那 山 の 新

枯 竹 の 色

枯 の 色

子 菜

草 菜

紅 菜

楓 子 菜

梅 子 菜

四 神歌

大神系 九日

稻系 八日

日吉系 五日

加茂系 十日

市野系 十日

藤系 八日

あまのこゑ  
あまのこゑ

日吉の系  
日吉の系

神系

忌きま  
柳と系

吉田系 八日

安良居系

あらんを

松尾出 酉

松之河出 午

深元忌 二日

人丸忌 六日

岩屋忌 十四日

八雲忌 十二日  
八雲座

十三系 サカ

岩崎大念仏

少太大念仏

長孫經 七日  
中山

市野拭 廿九日  
廿日

市野忌 十九日  
廿五日

市野の忌

十 植物

漆系 系

柿系 系

梅系 系

杏子系 系

栲系 系

栲系 系

栲系 系

柳系 系

猫系 系

下系 系

色見系

系 系

系 系

系 系

系 系

水の系 系

色之ぬ系

ほさ系

系 系

系 系

松乃系

甫乙の系

漆の系

楡の系

栲の系

だりの系

壬生念仏

法新供

蓮如忌廿九日

宗因忌廿八日

靖國祭六日

宗帳

出奔姓

順孝入

公事故事

おらふ

養食

あつる日とあつる  
ころう方とあつる  
とあり

五月

復

乾坤

卯月

卯の月

卯の月

卯の月

卯の月

卯の月

卯の月

卯の月

八十八夜

立夏

せん九人の実

菩提子

枳殼

九年母

柚

柑子

椋

蜜柑

金柑

果桐

けいふ

やぶ橋

白柑

西海子

椋櫓

櫓

櫓

桐油の實

椋

菜萹

椋の實

國栗

栗

さくら

さくら

梨

さくら

山あし



小 満

卯のていじ

種 取

ゆりかた取

物 取 取

大 矢 敷

修年より年をい  
て取るときは  
以て之月

午 睡

五月八日  
九月一日ヨハル

三尺 取

日三度  
三尺の  
取

牧 樹

あまのつばき

あまのつばき

椎

あまのつばき

拍 柴

あまのつばき

枹

あまのつばき

新 櫃

あまのつばき

豆 引

あまのつばき

小豆 引

あまのつばき

干土 田

豆 引

櫃 の 空

あまのつばき

鬼 取

あまのつばき

ハ 取

生 取

紅 取

尾 取

栗 取

栗 取

網 代 取

網 代 取

汗

汗 子 取

▲ 毒 汗 取

扇

▲ 毒 汗 取

窓 扇

窓 扇

日 傘

編 笠

あ の り 巾

毛 笠

蓑 子

蓑 子

極物歌

治丁来儿

牡丹

おんじん  
海名子

夜合歌

おんじん  
廿日子

菊の酒

おんじん  
廿日子

栗沢ふ

芍薬

おんじん  
廿日子

おんじん  
廿日子

酒

杜若

酒

おんじん  
廿日子

袖味嚼

紫柳

とろ餅

芥子のむ

新茗麦

美人草

黄柳

葵

付干

おんじん  
廿日子

鮮子

おんじん  
廿日子

菊の衣

立葵

新緑

おんじん  
廿日子

神歌

一八

神歌

喜の杜

少路大歌

おんじん  
廿日子

赤乃歌

麦芥

小香官歌

系挽子

半歌

紫薬

鞍歌

風車

四宮歌

うは石子

土楽歌

左枯草

宝永歌

ふ日紅

古巻糸 十二日

天<sup>マタ、ビ</sup>草

午<sup>マ</sup>草

山<sup>マタ、ビ</sup>草

口<sup>マタ、ビ</sup>草

志乃ね

寶の布

だ<sup>マタ、ビ</sup>草

糸市

節<sup>マタ、ビ</sup>の草

招魂糸 十五日 灵山

名根

神嘗糸 十七日

蓮<sup>マタ、ビ</sup>の草

あやこ糸 口

麦<sup>マタ、ビ</sup>の草

これ糸 十八日

を<sup>マタ、ビ</sup>草

梅雨糸

蕙

淀糸 廿日

石<sup>セキ</sup> 解

ふ<sup>マタ、ビ</sup>草 十日

冬草

栗田糸

鴨<sup>カモ</sup>脚花

法<sup>マタ、ビ</sup>糸

宝<sup>マタ、ビ</sup>草

在糸

蘭<sup>マタ、ビ</sup>の草

公<sup>マタ、ビ</sup>事

樊<sup>マタ、ビ</sup>草

菊<sup>マタ、ビ</sup>の草

高<sup>マタ、ビ</sup>草

ふ<sup>マタ、ビ</sup>草 田の草

玉<sup>マタ、ビ</sup>草

十一月

連<sup>マタ、ビ</sup>草

冬

下<sup>マタ、ビ</sup>草

乾 坤

山<sup>マタ、ビ</sup>草

神<sup>マタ、ビ</sup>草 月

山<sup>マタ、ビ</sup>草

神<sup>マタ、ビ</sup>草 月

宝<sup>マタ、ビ</sup>草

孟<sup>マタ、ビ</sup>草

本<sup>マタ、ビ</sup>草

孟<sup>マタ、ビ</sup>草

館<sup>マタ、ビ</sup>草

小 空

若 菜

▲シラカバ

若 菜

若 楓

若 菜

新 樹

木 下 草

つ づ 草

葉 柳

葉 榎

榎 木 実

卵 の 菜

▲シラカバ

小 菜

小 月

曆 菜

房 菜

夾 の 子

何 子

神 子

▲シラカバ

▲シラカバ

川 邊 の 時 白

風

木 子

卵 菜

▲シラカバ

卵 の 菜

卵 の 菜

相 の 花

葉 乃 菜

げ 乃 子

牛 棘

▲シラカバ

菜 抽

菜 中 子

は 乃 子

か 乃 子

榎 乃 菜

榎 乃 菜

▲シラカバ

▲シラカバ

▲シラカバ

卵 菜

冬 乃 菜

冬 乃 菜

冬 乃 菜

冬 乃 菜

冬 乃 菜

冬 乃 菜

冬 乃 菜

冬 乃 菜

冬 乃 菜

五 種 物  
土 物 中

三 輪 つ ぎ 記  
つ ぎ 三 月 記

厚 朴 の 系  
厚 朴

三 本 の 系  
三 本

苦 練 の 系  
苦 練

岩 梨  
岩 梨

系 橋  
系 橋

岩 梨  
岩 梨

系 橋  
系 橋

岩 梨  
岩 梨

系 橋  
系 橋

岩 梨  
岩 梨

系 橋  
系 橋

岩 梨  
岩 梨

系 橋  
系 橋

岩 梨  
岩 梨

系 橋  
系 橋

岩 梨  
岩 梨

系 橋  
系 橋

岩 梨  
岩 梨

系 橋  
系 橋

岩 梨  
岩 梨

系 橋  
系 橋

岩 梨  
岩 梨

系 橋  
系 橋

岩 梨  
岩 梨

系 橋  
系 橋

岩 梨  
岩 梨

系 橋  
系 橋

岩 梨  
岩 梨

系 橋  
系 橋

岩 梨  
岩 梨

系 橋  
系 橋

土 物 中

山 眠 記

山 眠

山 眠

山 眠

山 眠

山 眠

山 眠

山 眠

山 眠

山 眠

山 眠

山 眠

山 眠

山 眠

山 眠

山 眠

山 眠

山 眠

山 眠

山 眠

山 眠

山 眠

山 眠

山 眠

山 眠

山 眠

山 眠

山 眠

山 眠

山 眠

山 眠

山 眠

▲五 植物

茶 茶の三月

夏木 五

五山椒

落

蓼 子

芥 子

葱

草

根 羊

蕪菜

海松

又

生

杜鵑

山 山

四 四

所 所

橋 橋

有 有

口 口

余古 余古

り り

子

▲土 乳神

子 子

懐 懐

湯 湯

炭

炭

炭

白

枝

炭

炭

助

水

戦

豚

案

温

植

山

木

木

木

口

之

葉

山

▲上 せね

と 多 在 加

鶯 跂 子

老 嘗

礼 嘗

蝠 蝠

かこ あり 鴨 喰 鳥

死 蟻

蟻 の 子

▲ 株 の 巢 類 之

枝 蟻

蛆 虫

蚕 の 蝶

蟻 の 心

所 鯉

かろ 石 魚

鹿 俣 角

以 夏 三 月 七 日

雀

鳩 牛

か づ 子 子 子

井 虫

虫 蛭

蠅

ハ トラ クモ 蠅 虎

蚊

蚊 や り 虫 蚊 子 虫

▲ 土 植 物

後 花

くろ 咲 冬 木 の 梅

冬 木 の 梅

松 風 の 吹

宝 吸

むろ の 柿

枯 柿

枇杷 の 花

ハ 子 の 花

柿 の 花

極 の 花

五 葉 菜

ゆ ち 湯 又 秋 と も 冬 牡丹

草 かる

枯 芦

枯 尾 花

さ っ 草

菊 う ぐ 草

萩 う ぐ 草

萩 かる

菊 かる

雪 の 下

石 菖 花

麦 萩

苧 麦 萩

苧 麦

▲九 生糸  
故とんが

蚕

椰

蠟ロウ

子コ子コ

魚イサ

水馬スイバ

鳥トリ

鶴ツル

通ツウ鴨カモ

翁オウ翠スイ

翁オウ飼コ

翁オウ川カハ

翁オウ舟フネ

翁オウ繩ヒモ

▲翁オウ是コノ翁オウ

船フネ

法ホウ毛モウ法ホウ

餅モチ

水スイ鯉イサ

水スイ鱈イサ

魚イサ巢ウツ

やヤ子コ舟フネ

衣イ食シ款クワン

更ミ衣イ

▲十 生糸  
古木の實

葛クワ相サウ子コ

かカ括クワ

水スイ仙セン

空クウ菜サイ

冬トウ木キ立タテ

▲枯コ木キ立タテ

枯コ野ノ

葱ソウ

葱ソウ野ノ

葱ソウ

胡コ藤トウ引イン

生セイ糸イ

学ガクのノ子コ唱シヤウ

水スイ魚イサ

饅マウ頭トウ

饅マウ頭トウ

河カ豚ブタ

河カ豚ブタ

物モノ塚ツカ

生セイ海カイ嵐ラン

水スイ鳥トリ

水スイ鳥トリ

水スイ鳥トリ

水スイ鳥トリ



▲土 衣食

白子しろこ衣え

羽はね裕ゆ

櫛くし衣え

卯う玉たま衣え

阿あ玉たま衣え

常じょう酒しゅ

新しん茶ちや

古こ茶ちや

茶ちや结むす

生せいぶぶ

笋たけのこ漬づけル

早はや麦むぎ

新しん麦むぎ

糠ぬか

吉きち汁じゆ

冷ひや汁じゆ

常じょう次じ

洗せん云ぐも餅もち

饅まん頭づ

干かん饅まん

干かん饅まん

干かん饅まん

干かん饅まん

干かん饅まん

干かん饅まん

干かん饅まん

干かん饅まん

▲土 生衣

浮うき麻あ布ふ

鴨鴨膏膏

鴨鴨

鴨鴨

鴨鴨

鴨鴨

鴨鴨

鴨鴨

鴨鴨

鴨鴨

鴨鴨

鴨鴨

鴨鴨

鴨鴨

鴨鴨

鴨鴨

鴨鴨

鴨鴨

鴨鴨

鴨鴨

鴨鴨

鴨鴨

鴨鴨

鴨鴨

鴨鴨

鴨鴨

鴨鴨

▲土 神祭

飯

餅

風防の葉

神 祭

筑戸祭 一日

深中

尖如神

虎杖

菊地祭 五日

加賀鞍馬 五日

靖國祭 六日

市振祭 三日

新目吉祭 十四日

今宵祭 十五日

山霊祭 八日

茶摘 八日

戒檀老開帳 日

夏入

夏祭

夏祭

松尾祭

松尾祭

催佛

仙生金

子祭 三井

▲土 衣合

切干

莖漬

くき大根

汁

汁

汁

汁

汁

汁

貝焼

油豆汁

蕎麦汤

大根

巾

巾

皮足袋

线衣

线入

布子

綵子

綵子

綵子

綵子

綵子

綵子

綵子

六 乾坤

六月

夏

乾坤

阜月

子苗月  
月又以月

禘月

梅月  
仲夏

夏半

藥日

慨

負蒲太刀

かきり虎

けろ樹樹  
はふ甲

神糸

神軸袋

印 袖

巾 醉日

虎 浴日

徴 雨

入 梅

梅 の 雨

子 月 日

さつき  
さつき

梅 雨

船 風

鳥 日

二 神衣

蒲 周

念 取忌難し

厚 子 日

素 子 日

小 衾

紙 衾

古 衾

智 衾

雲 衾

雪 衾

神 衣

神 送 日

神 の 衣

神 の 衣

大 社 神 衣

神 衣

遠 國 祭 日

水 祭 祭 日

於 山 祭 日

至 一 忌 日

至 忌 祭 日

垢 子 講

誓 文 祭

遠 大 忌

芭 蕉 忌 日

時 忌 祭 日

▲六 抽物

芒種

夏至

添加

抽物

芒種

添加

抽物

芒種

添加

抽物

芒種

添加

抽物

芒種

添加

抽物

芒種

添加

抽物

芒種

添加

抽物

芒種

添加

抽物

芒種

▲土 公事

芒種

夏至

芒種

夏至

芒種

夏至

芒種

夏至

芒種

夏至

芒種

夏至

芒種

十二月

乾坤

極月

乙月

仲冬

仲冬

仲冬

仲冬

仲冬

仲冬

仲冬

仲冬

仲冬

▲土 公事

芒種

夏至

芒種

夏至

芒種

夏至

芒種

夏至

芒種

夏至

芒種

夏至

芒種

十二月

乾坤

極月

乙月

仲冬

仲冬

仲冬

仲冬

仲冬

仲冬

仲冬

仲冬

仲冬

▲六 植物  
▲七 植物

名苗  
田植

菱の系

かきく雪

川骨

けき雪

藻の系

雪やけ

藻を芥

雪垣

▲藻類

雪竿

藻の系

雪あらい

蕁菜の系

雪丸け

茶ざうぬ

雪佛

茶あやめ

雪女

藪草

雪つらき  
櫛

紅の系

雪車

まつむ系

雪皆

藻類

はふぬ

忘の系

雪

くんと系

雪

紫系

凍

ちま系

雪ゆる

百合の系

氷柱

さや系

垂氷

車ゆり

雪柱

杖ゆり

雪氷る

えん系

雪氷る

光ゆり

雪氷る

苔の系

汁供

雪の下系

植物類

鈴系

雪玉

▲六 極 子石蚕

かやつ子

地床子

夏菜

糸起く

石竹

瞿麦

大和子

川子

常夏

袖なき子

十菜

天南星

▲七 生 右山檜

新生子

金海菜

菌極る

紅糸菜

紫根堀

生草

ぬくめ

之苦子

杜又魚

練

くらま

活く

石 葛

岩はるめ

かき子

まふ子

南天の菜

梅の菜

つら子の菜

白金菜

忍草の菜

赤央梅

はな子

柳の菜

合歡菜

餉

以下三月

高子

高子

高子

大子

高子

高子

高子

高子

高子

高子

高子

栗の茶

狩杖

柘榴の茶

外幸縄

樗の茶

鷹犬

中々茶

ぬ寸立茶

せんごの茶

烏さけび

生胡椒

烏さけび

▲くまみ 穀

烏の首巾

桑の茶

ちり草

杏の茶

鮪

かき

おしん茶

まろ梅

熊穴入

小梅

衣食類

初梅

袴着

李

かきごめ

枇杷

乙子の餅

青柚

阿九酒

瓜の茶

まごれ酒

越瓜

玉子酒

あさ瓜

生薑酒

わさ瓜

袖ひし作

胡瓜

神歌

茄子

甚日酒

栗

口酒

あび茶

はな茶

胡芦

意燈

稗由

吹草茶

蚕豆引

月次茶

豨豆引

葛

まろひひ

阿ふさ

栳の糸

子木草

善竹

〜竹

竹極十日

阿ふさ

二木の糸括

覇五樹糸サホテン

生糸

蟬

まろひひ

響きを入

糸の浮巢

▲号 籠

水 勢

鴨 子

法 毛を習

羽 ぬけ

燗 子カモ

鹿 乃子

獸 子

甲子糸

永夜忌三日

空也忌十日

新 下

浅子市十日

浅花忌廿日

大 稜廿日

ぬり神四日

平右郎糸四日

生糸十日

神 樂

甲子糸

小 忌衣

神 樂

神 籠

櫛 物モリ

大 糸サイ

小 前サキ

星 詠

何れも神楽冬あり

公事故事

虚 籠トコ

鬼やらひ

大今人鬼つむ

歳暮之詞

阿 走

子 始

味 拂



あしひつ

照射

空串

はつ男

小鰯

蛆

蠶虫

地衣ぬぐ

鰯生

腐化菌成

五位警

鯨此子生

衣食類

糶

芦ちまき  
海ちまき

菰ちまき  
かきり糶

柏餅

葛屬酒

酢を造

ラッキョウ 漬ル

蓑衣

襦子衣

帷子

葛屬帷子

葛屬巾着

うきまの

焼くき  
すとり

昔季候

うきま

餅搗

餅蒸

餅印ら

果印ら

年越

松さし

松麦

鯨さす

豆打

豆とんね

厄拂

厄おとし

糶の札

けの糶

年忘

年の市

神おま

松さす

おつ茶麦

茶竹麦

かき栗麦

錫松麦

門松うり

単一の

ひとの羽織

夏をくろ  
層羽織

辻の花

晒布

生布  
木ひ

麻布

神歌

丹生川系  
一日

東照系  
一日

貴船系  
一日

月次系  
一日

三保系  
一日

縣系  
一日

蟬丸系  
一日

丈山系  
一日

氷川系  
一日

八坂系  
一日

札幌系  
一日

鶴子切系  
一日

勢田系  
一日

頼政系  
一日

業平系  
一日

菅系  
一日

佐吉系  
一日

大袂  
一日

年永物

年木惣

衣配

大系  
大系系

吉田大袂

五条乙井坊

をけり  
務のり

古こりみ

居宅納

芭果居

右宅居

古どりの末

れ納

星仙系

年  
心

年  
心

初年

年の末

年の終

年の尾

去る年

流る年

情正年

年満る

年の深

年の果

年の限



川さるさる 色まらるまらる

海うみのうみ 色まらるまらる

そまうつうつ 色まらるまらる

そまぶぶ 色まらるまらる

そまのの 色まらるまらる

深ふかのの 色まらるまらる

留とどのの 色まらるまらる

上かみのの 色まらるまらる

下したのの 色まらるまらる

法はふのの 色まらるまらる

名なのの 色まらるまらる

名なのの 色まらるまらる

○ 懐紙式

百韻 表八句七句

表十四九句 二十三月

二十四句 初二日 二十四日

三十四句 二十三日 名三句

名八句 七句 右四句

五十韻 百韻二折

歌仙 表六句七句

表五句七句 名三句

名六句 五句 右二句

四十四 表八句七句

表十四九句 名十四句

二十八句 七句 右二句

七十二候 表八句七句

表十四九句 二十四日

二十四句 初二日 名十四日

後紙式

名八分 七ヶ月 右三折 五月

源氏行 表六分 五月

表十一 七ヶ月 二折 十一月

二折 十一月 名十一 二月

名六分 五月 右三折 五月

米字 表八分 七月

表十一 七ヶ月 二折 十一月

二折 十一月 三折 二月

三折 二月 名十一 二月

名八分 七月 右四折 七月

易 表八分 七月

表十一 七月 二折 十一月

二折 十一月 名十一 二月

名八分 七月 右三折 五月

十八公 表十 九月

表八分 七月 右一折 一月

長歌行 表八分 七月

表十六 九月 名十一 二月

名八分 七月 右二折 二月

短歌行 表四 四月

表八分 七月 名八分 七月

名四 二月 右二折 二月

千句 百韻十卷

表八分 七月 甚三 夏二

秋三 冬二 懷紙式畢

去短句式 喜 五 去

夏 五 去 秋 五 去

冬 五 去 山 三 去



植 高 池 堤

溪 流 渡 関

渚 崎 冲 津

磯 浪 汀 泡

洲 汐 瀬 海

溝 筏 海 士 真

築 山 火 淳 水 海 草

法 有 布 胎 取 岸

水 多 貝 網 川 特

泉 地 産 汐 汲 埴 竈

蓮 藻 井 戸 氷

氷 水 之 詞

三月廿四日  
思ひ出

田 苗 代 管 家 岩 取

住 吉 龜 池 鴨 野 玉 丸

かきくさの  
依のこころ

神 祇 の 詞 社 日 々

宮 居 子 木 體 木 之 所

有 殿 供 殿 神 子 之 處

長 方 以 所 神 乐 以 後

神 樂 市 殿 注 連 後 了

糸 以 帶 大 ぬき 拍 子

流 米 之 所 以 火 燒 切 中

和 玉 未 在 乙 女 子 神 子

祝 言 加 持 忘 什 執

禊 禊 小 忌 衣 三 寸 芥 末

柳 玉 垣 湯 立 巫

申禱書法

非邪語詞

愚方年法

檀那男山

龍井龍文

信保地龍馬

葉守の非

釈名詞

仏菩薩の名

僧の友名

法經の名

舍利入定

拂子如色

論義禁足

法回禪定

觀念悟道

五戒破戒

持戒血脉

護六柱杖

錫杖因果

六道極樂

地獄引導

末途修行

齋トキ 五時

五輪塔婆

灌頂多心

五結福結

木魚經

生具順礼

精舎和漢

淡義箋

衆徒尼

流於功法

非教教詞

煩惱坊主

碩学書記

鐘

匠者の教名

法殿の教名

惡之詞

水鏡水鏡

鍋ナベ 袖スベ

うらみうらみ 袖のスベ

妹背イモ ちチ

ちチ ちチ

新ニ 後ノ

後ノ 後ノ

虫ムシ 虫ムシ

虫ムシ 虫ムシ

孫ムコ 孫ムコ

孫ムコ 孫ムコ

門カド 門カド

門カド 門カド

子コ 子コ

子コ 子コ



無常

うね名  
たすし男  
うね女  
うね子  
うね被

海森  
あく抱  
情なし子  
情なし子  
情なし子

妹  
あみ  
けいせいの  
うね女  
一市妻  
妻

治市  
あみ性  
丸ひい  
女房  
丸ひい

若原  
あみ性  
あみ性  
あみ性  
あみ性

之ん  
あみ性  
あみ性  
あみ性  
あみ性

あみ性  
あみ性  
あみ性  
あみ性  
あみ性

寺開  
占  
戸占  
比君  
傾城町の名

白掬子  
傾城町の名

非戀詞

あく授  
あく授  
あく授  
あく授  
あく授

あく授  
あく授  
あく授  
あく授  
あく授

あく授  
あく授  
あく授  
あく授  
あく授

あく授  
あく授  
あく授  
あく授  
あく授

あく授  
あく授  
あく授  
あく授  
あく授

あく授  
あく授  
あく授  
あく授  
あく授

あく授  
あく授  
あく授  
あく授  
あく授

あく授  
あく授  
あく授  
あく授  
あく授

あく授  
あく授  
あく授  
あく授  
あく授

あく授  
あく授  
あく授  
あく授  
あく授

あく授  
あく授  
あく授  
あく授  
あく授

あく授  
あく授  
あく授  
あく授  
あく授

あく授  
あく授  
あく授  
あく授  
あく授

あく授  
あく授  
あく授  
あく授  
あく授

あく授  
あく授  
あく授  
あく授  
あく授

あく授  
あく授  
あく授  
あく授  
あく授

夜分之詞

月 星

明星

宵 森

枕 夢

神樂日新

七夕

稻妻狐

横中

花火町火

燈籠

早中特命

埋大

人魂浦

床

辻君嵐

蛸蛸

幼鈴故時

追儀

非夜分詞

海 入古

泊

夕月夕月

有明

稲光一雨酒

芦火 音月出きゆ、虫の音

皇女

新院親上

人倫之詞

帝 太子

非人倫之詞

皇女 本院

白狐

大名仙人

一少

子行地既

代友

和尚法友

某 凡夫

俗 人道

民 百姓

火工 旦那

和 宗義

時吉 格守

和科

本道 身 加記

二人 三人

居所之詞

寺 社

非居所之詞

社 寺

堂 皇太后 内裏御着

室 戸葉山 柱 市坊

町 芝居

衣類之詞 吉服子 及衣

非衣類之詞 虫無特衣

赤袴袴 双袴小忌衣

白袴袴衣 袷裏上下

加蓋十法 水衣 厚衣

巾 既巾 足袋 立白

股引 折半 兼衣 合羽

禪 帽子

旅伴之詞 巾出 紗子

送迎 平階 系掛 どの女

出女 指筥 木登 袴袋

宿原川 留 馬信 白尾

小笠原 詔白 蒲巻 一里塚

室札 野尻

火伴之詞 烟 炭竈

焚火 燵 鈔 巨燵

空法 火桶

風竹之詞 吹 風鈴

扇 雲 扇 扇

扇 雲 扇 扇

扇 虹 相 系柱

扇 雲 扇 扇

扇 雲 扇 扇

扇 雲 扇 扇



穀の西系 花を扇葉十餘あり

花よりち 花の月 花の種あり

花の種 人備 花の年 口上

花の種 花の月 花の年 口上

花の種 花の月 花の年 口上

花の種 花の月 花の年 口上

花の種 花の月 花の年 口上

花の種 花の月 花の年 口上

花の種 花の月 花の年 口上

花の種 花の月 花の年 口上

花の種 花の月 花の年 口上

花の種 花の月 花の年 口上

花の種 花の月 花の年 口上

かくしの花 花の月

月の夕信心は

秋の月の内 花の月

夕月 花の月

三月月出 花の月

花の月 花の月

花の月 花の月

花の月 花の月

花の月 花の月

花の月 花の月

花の月 花の月

花の月 花の月

花の月 花の月

花の月 花の月

月の字法はあを存る

月の名 三兔 玉蟾

光輝 蟾蜍 桂影 冰輪

水氷 畫波 玄兔 銀盤

月らえ男 桂男 桂宮

いとよ 立待 居侍 菅原

大の月 つぎ 飛鳥西の月 月ふぶし

まの月 瓶月 月夜む

まの月 まの月 あつ あつ

月の字のあをむけるるあを

まの月 月味 月易 月

まの月 まの月 あつ あつ

まの月 あつ あつ

月の字 あつ あつ

胸の月 あつ あつ

月の字 あつ あつ

月の字 あつ あつ

月の字 あつ あつ

月の字 あつ あつ

月の字 あつ あつ

月の字 あつ あつ

月の字 あつ あつ

月の字 あつ あつ

月の字 あつ あつ

月の字 あつ あつ

月の字 あつ あつ

何、幾、さぞ、や、か、所、久  
つ、ん、ち、り、果、ぬ、向、ふ、し、  
致、す、一、遍、し、り、久、久、れ  
け、め、ら、ん、ら、し、ら、め、た  
れ、た、う、た、を、い、さ、い、さ、  
つ、ふ、い、さ、い、さ、い、さ、  
づ、と、あ、ま、い、つ、つ、つ、  
な、ど、あ、ぞ、な、せ、急、け、せ、  
て、ね、へ、め、ま、な、よ、そ、  
若、の、如、う、字、切、と、字、切、大、四、  
を、あ、ら、う、と、字、切、と、  
昔、意、義、(後) 語

一 摺入る摺を出す時、せせく  
又摺入る時、終極を、一不摺  
小入格を、その、初、く、自、存、と  
は、格、一、終、極、文、ま、た、味、ひ  
ん、向、上、の、一、路、を、極、ひ、他、を  
四、法、を、め、ま、し、  
一 子、母、事、不、易、一、耐、保、り  
一 他、人、の、内、ハ、粉、色、の、ぬ、  
一 遠、く、の、白、ハ、墨、画、の、ぬ、  
一 粉、色、乃、ま、た、く、も、心、他  
一 心、か、さ、う、さ、い、志、を、り、  
て、い、  
一 名、人、ハ、地、を、よく、調、べ、  
一 目、よ、う、れ、ハ、危、き、お、こ、ぬ、  
一 上、手、ハ、目、を、お、り、ら、み  
り、

一 字新佐河才マ吟味する  
 一 古き撰集、眼をばらばら  
 一 系門の風流をそのよき先  
 落の所由之而教冬の日左の目  
 務とれひさと何ら此屋儀未熟  
 覽志一後ハハ代々  
 一 初人のうちハ白敷をりてむ  
 へ一まより姿情をワくら大  
 山を越へ向ふの林、りりるま  
 臥葉及一六尺を越人と取  
 するもの、さき、七尺を望むへ  
 一 されがらふ記、形、終、  
 入也、さうん、か、た、出、古、人の、袖

中、は、ま、る、る、り、り、り、り

一 佛社ハ中人以下のもの、誤  
 其ハ俗語を平語、の、覺  
 たる、由、へ、俗、談、平、話、を、た、さ  
 ん、と、た、と、拙、き、と、そ、う、り、り、り  
 瓜、け、ひ、ら、と、覺、を、さ、ら、ハ、は、は、は  
 知、あ、り、佛、語、ハ、万、葉、集、の、心、こ  
 され、ハ、天子、より、下、ハ、民、中、の、味  
 ふ、及、た、り、る、を、明、是、ハ、中、の、身  
 の、豪、傑、も、愧、る、と、さ、一、た、心  
 此、や、一、た、を、知、り、り  
 一 子、よ、ま、を、要、た、り、こ、こ、の、國  
 ハ、く、よ、は、才、一、の、心、る、れ、ハ、先  
 哲、の、位、を、味、ひ、一、字、も、多、麻、束、ふ











一 傍命れまやうハ秋の野々  
 たりしやうまかくる  
 又其名をんまよ田の石のうら  
 とたれもる候もるべ  
 右執事のほろ家く候はり  
 と云らも是は才大里を記そ  
 終とまらぐの口候あは余安  
 志候所新宅流所新候候  
 ねあふまこあくあももけま  
 を恐れまらに田者功志の人  
 よりてそのよる

着座心得

- 一 出坐 逆糸一尾を糸と振る
- 一 靴 白草白一了今成種談
- 一 階 白くと呼く一災一に口を今
- 一 白ふのちを今一曰 注研 是る
- 一 他の白を今一若輩は是合はる
- 一 靴の白を今一靴向を今あらる
- 一 白白と他の白を今内を今たら
- 一 口白を今を今も白志の白とする
- 一 睡眠 欠伸

右の所々々の法成あり所と知て  
 そのよる  
 一 新室の合を今一持るやるるを  
 のせ今とつる  
 一 又其名の合を今ハツ友の字を今  
 のうらまはる  
 一 匠の今合を今ハ匠むうのよめ  
 とくまら迷ふつとらや  
 けりをつむ今余形中一とて  
 ハ之ふ匠を浪風あ一忘し  
 又一世五体ふまの人まきう  
 ちあははまらぬののりつて  
 もく思惟しとる  
 一 又其名の合を今ハ匠むうのよめ  
 目の今合と云るるあり他  
 れは今今を今あらるる候已  
 旋向のうかをぬを致く一  
 候候所よりつてあきらむ  
 候

船五体論

打添

松林千鳥のとすりたり林の音

漱くけちの音のを甲

お前

ワケるあや野の降雪の音のこ

裾の音のこをくろく月

遠白

月正のあま汗たをその入

謝去つてはちの人を

以る

松を流てわくやまは小松川

垣根の虫の鳴はうら

野舟

木良七守の土堂伽藍八重さ

暖るをむとマカハ

舟の十体論

豊

西風のそら雲はまをそふ

むくく鳴るは波は

船はくハチの橋の音を

廣

近所の田植は波の脚

くくくくくくくくくく

船の音の音の音

白

くくくくくくくくくく

折れてくる音の音

火をくくくくくく

他

そらおひくくくく

左風これすくやあり地

ワケては船を大から

多

馬士を待てつたお

月取の音を

やうりく砂を

女

くくくくくくくくく

女心の音を

化板くくくくくく

野

海の中へ舟の音

歌にせよまらむ松のしる  
石のたかしお鳥堀子よまらむ

用

若葉の形かみせきくかり  
ちりしは自の身たかみせ  
高しちゆりくく内のゆりく

二氣

年よまのまのびくまらむ松の  
世まきくまの月まひまめく  
せりくく西のゆり根まひく

質

まエ又する松のつら  
あはれの侍車中よにくすれく  
松まらくくまらむゆり

白鳥十五條

理

甲の松のまらむまらむ松  
松のまらむまらむまらむ

遠

松のまらむまらむ松  
松のまらむまらむ松

其人

まらむのまらむ松のまらむ  
松のまらむまらむ松のまらむ

其

松のまらむまらむ松  
松のまらむまらむ松

時

松のまらむまらむ松  
松のまらむまらむ松

時

松のまらむまらむ松  
松のまらむまらむ松

離

松のまらむまらむ松  
松のまらむまらむ松

景

松のまらむまらむ松  
松のまらむまらむ松

向

松のまらむまらむ松  
松のまらむまらむ松

途

新刊

江戸の老右衛門の字を改定して  
これよりワレとる印を  
心付

海へいしとらるる世々  
伊勢のりくと文をやる  
同

喜畑の竹地より示杭  
夷人も志すおたぬの  
寂

町内のおもあけりゆる  
何そらにいもまらるる  
控

星まらるる二十八日  
ひらに八村軍のさや  
白

白ハ一花の自りく百白  
白ハ一花の自りく百白  
阿けらるる

芭蕉翁建語集

原版人 隅永真助

明治五年五月十七日

御届 定價廿五錢

福井縣 平民

翻刻人 黒田善治郎

武生桂町士龜

發賣人





